

学校教育目標	学校の現状分析		学校経営方針(中期経営目標)	
<p>「ふるさとを愛し 夢や希望に向かって 自らを高める 美山っ子の育成」</p> <p>《目指す児童像》 み 自ら考え、豊かに表現する子 や やさしく、思いやりのある子 ま まっすぐ伸びるたくましい子</p> <p>* 児童が生き生きと活動し成長することを、保護者・地域・教職員が手を携えて取り組む学校</p>	<p>○自然・歴史が豊かで穏やかな地域にあり、地域・保護者の教育力に支えられ、児童は落ち着いた学校生活を過ごしている。</p> <p>○与えられた課題に真面目に取り組む児童が多いが、興味を追求したり、失敗を恐れずチャレンジしたりするなど主体的に取り組む姿勢をさらに育んでいきたい。</p> <p>○スクールバス等により、児童の安全は確保されているが、徒歩通学の距離減少や、生活様式の変化もあり、運動量の減少は否めない。自ら身体を動かそうする環境構築が必要。</p> <p>○社会の変化に伴う、多様な価値観、考え方も見られるが、様々な他者の考え方や有り様を受け止め、互いを尊重する気風をさらに醸成させていきたい。</p>		<p>○教職員・児童・保護者・地域、それぞれ、また、相互の対話を増やし、意思疎通を十分に図るとともに、他者を受け止め、互いをリスペクトする気風の醸成をはかる。</p> <p>○児童に寄り添い、それぞれの考えを尊重しつつ、個々の興味を引き出し、追求できる環境を整え、主体的態度を育む。</p> <p>○地域・家庭・学校(児童・教職員)でめざす児童像・学校像を共有し、その実現に向けて忸度なく対話できる関係を築き、学校を核に人が育つ場をつくる。</p>	
学校経営の重点(短期経営目標)	成果	評価	課題	改善策等
1-1児童や教職員が自らの力を高めていけるよう、心理的安全性が高い学校経営をめざす。	総合的な学習の時間や委員会活動において、児童が主体的に取り組む姿が見られた。教職員も「まずはやってみる」気風が感じられ、チャレンジする場面が見られた。	B	チャレンジする場面が見られ始めたが、どのような場面でも自分の考えをのびのび言える場の醸成には至っていない。	チャレンジしてきた場面を地域保護者に発信するなど、目指すべき姿に光を当て、各々が好きや興味を追求できる場を引き続き創っていく。
1-2全教職員や、時には児童、地域・保護者も交えて対話を重ね、創りたい学校像・育てたい児童像を共有し、その実現に向け、それぞれができること・やりたいことができる環境をつくる。	4月に運営協議会委員と全小中学校教職員で、また、5,6年生児童と全教職員で、1月に5,6年生と地域・保護者との対話の場を設けることができた。	A	対話の場を設けることができたが、保護者の参画がまだまだ少ない。また、その対話の内容が実現した事例が少ない。	次年度も4月の場をつくることは確定している。自由に意見を言える場づくりを継続するとともに、さらに地域・保護者との対話の場を増やしていく。
1-3子どもたちを宝とさせていただき、地域・保護者が、学校と関わっていただける機会を増やし、児童のよりよい成長につなげるとともに、地域・保護者にとっても喜びや地域活性化につながるよう取り組みを進める。	昨年度に続き、60分PJでは自然なふれあいの場を、また美山学では地域・保護者から学びを得ることができた。特に1月に開催した高学年の「10年後の美山に残したいもの」をテーマにした熟議は地域の方が独自の動きを始められたジャンルも生まれた。	A	美山町が抱えている課題は多く重たい。子どもたちが夢や希望を持てるような大人の姿を見せる必要性を感じている。	次年度以降、運営協議会を軸に10年後の美山を想定しながら、地域・保護者・学校で今何ができるか、熟議を重ねて、並行して高学年の美山学のテーマも継続した取組とする。
2児童の『好き』を引き出し、夢中になれる活動や授業の場をつくり出すと共に、『得意』を生かせる集団を育む。	児童を主体的にさせる取組を、研究・授業デザインをはじめ、「総合的な学習の時間」、委員会活動等、あらゆる教育活動に置いて取り組み、児童の変容が見られた。	A	主体的な姿を見せる場面は増えてきているが、まだその仕掛けを全教職員が体得できていない。	「総合的な学習の時間」や委員会活動の有り様は継続し、授業研は今年度の総括に基づき、次年度も積み上げていく。
3ケースリスト・事象メモを習慣化し、確実な情報共有・連携を行う。	さくら分室も含め、ケースリストの有効活用について試行錯誤を重ね、昨年度より有効的な活用ができた。	B	ケースリストがいくつかあり、情報が分散している面が残る。	校内はケースリスト、他機関との連携はキントーンに集約させる。